

ヨーロッパ型スポーツ経営 I

科目ナンバリング SPS-324

選択 2単位

大山 高

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は「サッカー」という競技がどのように誕生して欧州から世界へ広がり、今日のような(プロサッカービジネスの)経済的發展までに至ったのかを習得することが目的である。ヨーロッパのプロサッカー界は、W杯での代表チームの成功と各クラブや選手の競争力によって世界をリードしている。しかし、その一方で、ヨーロッパ全体に通ずる「経済不況」により各国のリーグとクラブに格差や「国際化(欧州各国の移民政策など)」が広がっている現状も理解することが必要となる。イングランド、ドイツ、スペイン、イタリア、フランスの欧州五大国トップリーグ経営を概観し、欧州プロサッカークラブの構造と特徴を習得していく中で、本講義ではクラブの資産価値世界一の「マンチェスター・ユナイテッド」と観客動員数世界一の「ボルシア・ドルトムント」を中心に上げていく。この二つのクラブが所属する「イングランド・プレミアリーグ」と「ドイツ・ブンデスリーガ」のマーケティングを題材に講義していくが、本講義はヨーロッパ型スポーツ経営(サッカー)の学習に留まらず、日本のJリーグに関するリーグ&クラブマネジメントの基礎知識を各講義で比較研究していくことを(授業の)狙いとする。

2. 授業の到達目標

- ・ヨーロッパ五大国プロサッカーリーグの概要とリーグ構造の理解
- ・独ブンデスリーガなどの海外主要クラブのマーケティングの理解
- ・Jリーグの経営戦略とマネジメントの基礎知識を習得

3. 成績評価の方法および基準

出席: 7割以上の出席を前提とする。平常点として28点
試験: 期中に中間・期末テスト36点×2回 計72点
※公欠、病欠は証明書があれば認める
以上を総合的に評価する

4. 教科書・参考文献

教科書

大山 高 『海外のサッカーはなぜ巨大化したのか』—欧州サッカーの歴史とクラブ経営に学ぶスポーツマネジメント—※本書は講義のメイン教科書となる (青娥書房)

大山 高 『Jリーグが追求する「地域密着型クラブ経営」が未来にもたらすもの』※本テキスト第3章は授業の中でも重要なポイント (青娥書房)

5. 準備学修の内容

準備学修の内容として、本講義中に使用する『海外のサッカーはなぜ巨大化したのか』—欧州サッカーの歴史とクラブ経営に学ぶスポーツマネジメント—教科書を授業前に各自熟読しておくこと。また、期中に同著内第6章の「レポート」を提出する。

6. その他履修上の注意事項

講義を通じて紹介していくスポーツマネジメントの理論と実務をバランス良く習得するための大学プログラムには積極的に参加してほしい。授業中の積極的な発言等で本講義担当教員とのコミュニケーションをとることはできるが、特別に提供される実習プログラムの参加により、学生個々のポテンシャルを教員が理解する良い機会となる。特に、本学では2018年よりドイツのブンデスリーガ古豪クラブ「ボルシア・ドルトムント」と「VfLボーフム」との学術研究パートナーシップを締結して開講するプログラムも多くなるため、積極的な参加を期待している。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(帝京大学とボルシア・ドルトムント&VfLボーフムのパートナーシップ契約に関するヴィジョン)
—なぜ、ヨーロッパ型スポーツ経営を学ぶのか—
—スポーツという概念の成立—
- 【第2回】 欧州発祥「サッカー」の源流と歴史的背景
- 【第3回】 近代サッカーの歩みとオリンピックの誕生
—スポーツの近代化を推進した産業革命—
- 【第4回】 スポーツのプロ化が生まれた歴史的背景
—アマチュアリズムの世界輸出と日本に与えた影響—
- 【第5回】 ニュースメディアの台頭とスポーツのグローバル化
—メディアの発達とスポーツのプロ化—
- 【第6回】 スポーツのグローバル化がもたらしたもの
—衛星放送がもたらしたサッカーのビッグビジネス(イングランド・プレミアリーグ)—
- 【第7回】 欧州で誕生した「サッカーマーケティング」の試み
—スポーツビジネスも顧客満足度重視の時代—
- 【第8回】 FIFA創設と欧州サッカーの変遷
—世界最古のサッカー協会設立とFIFA・ワールドカップ—
- 【第9回】 欧州五大国トップリーグの実情と課題
—イングランドのプレミアリーグ、ドイツのブンデスリーガ、スペインのリーガ・エスパニョーラ—
- 【第10回】 欧州五大国トップリーグの実情と課題
—イタリアのセリエA、フランスのリーグ・アン、+日本のJリーグ—
- 【第11回】 実務者による講義
『欧州サッカークラブとビジネスをする日本人 オランダ&ドイツ篇』
- 【第12回】 サッカーというスポーツの市場規模(欧州とアジアの比較)
- 【第13回】 欧州ビッグクラブの事例
ボルシア・ドルトムント/マンチェスター・ユナイテッドの経営戦略
- 【第14回】 欧州プロサッカーリーグと日本のJリーグの比較研究
- 【第15回】 国際情勢とサッカー/まとめ